

シルビアサーフ カタログ

【改訂第10版】

下地調整材・下塗り・中塗りの
3つの機能を1つに——
外壁塗装の大幅な工期短縮を実現します。



▲山鼻サントウン



▲尾道市立市民病院



特長

- 1 下地調整材・下塗り・中塗りが1工程で完了。工期を大幅に短縮できます。
- 2 微弾性塗料で躯体の動きや細かなひび割れに追従し防水性を発揮します。さらに、コンクリートの中性化などから建物を保護します。
- 3 既存塗膜の微細なひび割れや凹凸、巣穴を充填するフィラー機能があり仕上りをよくします。
- 4 特殊樹脂により、多くの既存塗膜に対して高い付着力を持っています。
- 5 低臭タイプの1液水性塗料のため、安全で取扱いも容易です。
- 6 水性から溶剤形まで、多くの上塗りに適性があり、用途・目的に合わせた選定が可能です。

試験成績表

■ JIS A 6916 建築用下地調整塗材 下地調整塗材E準拠

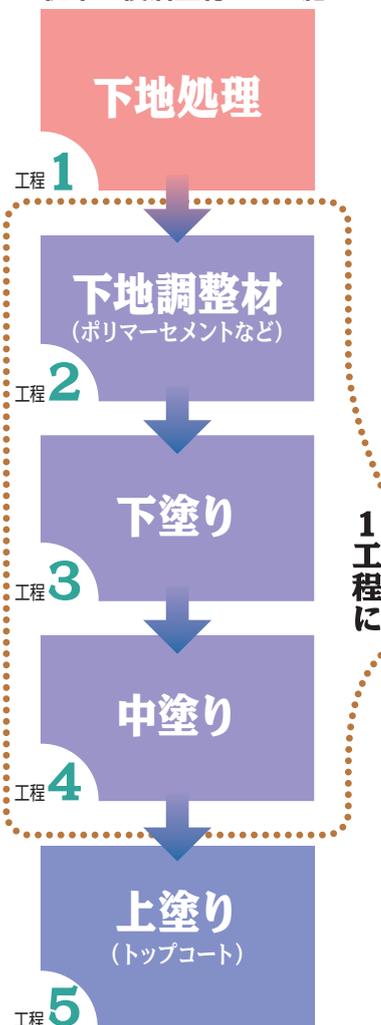
試験項目	試験成績
低温安定性	合格
初期乾燥によるひび割れ抵抗性	合格
付着強さ (N/㎡) 標準養生	合格 0.7以上
付着強さ (N/㎡) 浸水後	合格 0.5以上
吸水量 (g)	合格 2.0以下
仕上材が複層仕上塗材の場合の耐久性 (N/㎡)	合格 0.5以上

■ JIS A 6909 建築用仕上塗材 可とう形改修塗材E準拠

試験項目	試験成績
低温安定性	合格
初期乾燥によるひび割れ抵抗性	合格
付着強さ (N/㎡) 標準状態	合格 0.7以上
付着強さ (N/㎡) 浸水後	合格 0.5以上
透水性B法 (mL)	合格 0.5以下
耐衝撃性	合格
ひび割れ充填性	合格
耐候性A法	合格
可とう性	合格

下地調整材・下塗り・中塗りの3工程を1回で仕上げる工期短縮工法。

■従来の複層塗材による施工



■シルビアサーフによる施工

- 高圧水洗浄などにより、汚れやチョーキング、コケなどを除去してください。
- 既存塗膜の付着が弱い場合は除去してください。
- 幅0.3mm未満のクラックについてはシルビアサーフを擦り込んでください。幅0.3mm以上のクラックの場合は、Uカットを行い、ノンブリード型ウレタン系シーリング材で処理してください。
- 下地のレイタンス、欠損、ひび割れ、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは適切な下地処理を行ってください。
- 改修工事の場合は、健全な状態でしっかりと付着していることを確認してください。
- 粗面やALC面、多孔質下地など、凹凸が大きく下地調整が必要な場合は「NTカチオンシリーズ」などを使用して、適切に下地調整を行ってください。
- コンクリート・モルタル・下地処理材により補修した部分は、必ずNT水性カチオンプライマーを施工してください。
- 既存塗膜面を剥離した部分は、なるべく既存塗膜と同一種類の塗料を用い、パターンを復旧を行ってください。

シルビアサーフ

- 大波工法(砂骨ローラー仕上げ).....標準使用量0.8~1.5kg/㎡
- ウールローラー工法(ウールローラー仕上げ).....標準使用量0.3~0.5kg/㎡
- ゆず肌工法(吹付仕上げ).....標準使用量0.5~1.0kg/㎡

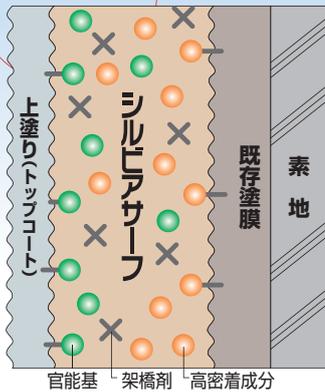
※上記使用量は被塗物の形状、状態、気象条件、施工条件などにより多少の幅を生じることがあります。
 ※使用量が少ない場合、溶剤形や弱溶剤形上塗り施工時にリフティングが発生する原因となります。
 ※シルビアサーフの使用量が多い場合は、乾燥を確認して次工程に進んでください。

- 希釈量(水道水)0~0.6kg(シルビアサーフ16kgに対する量)
- 次工程までの施工間隔16時間以上72時間以内

■シルビアシリーズ ■バラサーモ外壁用シリーズ

※適用上塗りには、水性・弱溶剤形のウレタン樹脂から有機・無機ハイブリッド樹脂塗料までラインアップしています。
 ※ページから選択してください。
 ※上塗りの詳細は、各専用カタログをご参照ください。

既存塗膜と上塗り(トップコート)の双方に強い密着力をもつ特殊アクリルエマルジョン樹脂を採用。
あらゆる下地に強力に密着し、優れた耐久性を発揮します。



シリビアサーフに使用している樹脂は、既存塗膜に対して強く付着する成分とトップコートに高い密着性をもつ成分を、それぞれの性能を最大限に引き出すようにバランス良く配合。それらの成分を架橋剤で結び付けることにより、既存塗膜およびトップコート双方に対して優れた密着力を発揮する設計の特殊アクリルエマルジョン樹脂です。多くの既存塗膜に使用できるばかりでなく、水性・溶剤形など、トップコートのタイプも問いません。下地調整材・下塗り・中塗りの3工程を1回で仕上げられる効率のよさとともに、塗膜は緻密で弾力性があり、防水性・耐水性・耐久性にも優れた効果を発揮します。

■シリビアサーフの下地に対する付着力

単位：N/mm²

薄塗仕上塗材	複層塗材 (吹付タイル)		弾性厚塗塗材		厚塗スタッコ塗材	
	Eタイプ	RSタイプ	単層タイプ	複層タイプ	無機質タイプ	有機質タイプ
アクリルリシン	0.96	0.89	1.10	0.90	1.27	1.10

※試験方法：建研式接着力試験機によります。

容量

●NT水性カチオンプライマー 15kg

●シリビアサーフ 16kg

■水性タイプ

- シリビアセラティー N遮熱上塗 15kgセット(A液: 14kg, B液: 1kg)
(2液水性ハイブリッド無機樹脂遮熱塗料) 3.75kgセット(A液: 3.5kg, B液: 0.25kg)
- シリビアセラティー遮熱中塗 16kg, 4kg
(1液水性シリコン樹脂遮熱塗料)
- シリビアセラティーN上塗 15kgセット(A液: 14kg, B液: 1kg)
(2液水性ハイブリッド無機樹脂塗料) 3.75kgセット(A液: 3.5kg, B液: 0.25kg)
- シリビアセラティー中塗 16kg, 4kg
(1液水性シリコン樹脂塗料)

- シリビア1液ハイブリッドセラ遮熱 16kg
(1液水性有機・無機ハイブリッド樹脂遮熱塗料)
- シリビア1液ハイブリッドセラ(1液水性有機・無機ハイブリッド樹脂塗料) 16kg
- 水性パラサーモ外壁用(1液水性シリコン樹脂遮熱塗料) 16kg, 4kg
- シリビアWF-400(1液水性フッ素樹脂塗料) 16kg, 4kg
- シリビアWF-400専用中塗(1液水性シリコン樹脂塗料) 16kg, 4kg
- シリビアWS-300(1液水性シリコン樹脂塗料) 16kg, 4kg
- シリビアWU-200(1液水性ウレタン樹脂塗料) 16kg, 4kg

■弱溶剤タイプ

- パラサーモ外壁用F 16kgセット(A液: 14kg, B液: 2kg)
(2液弱溶剤形フッ素樹脂遮熱塗料) 4kgセット(A液: 3.5kg, B液: 0.5kg)
- パラサーモ外壁用Si 16kgセット(A液: 14kg, B液: 2kg)
(2液弱溶剤形シリコン樹脂遮熱塗料)
- パラサーモ外壁用U 15kgセット(A液: 13.5kg, B液: 1.5kg)
(2液弱溶剤形シリコン樹脂遮熱塗料)

- シリビアNADフッ素 16kgセット(A液: 14kg, B液: 2kg)
(2液弱溶剤形フッ素樹脂塗料) 4kgセット(A液: 3.5kg, B液: 0.5kg)
- シリビアNADシリコン 14kgセット(A液: 12kg, B液: 2kg)
(2液弱溶剤形シリコン樹脂塗料) 3.5kgセット(A液: 3.0kg, B液: 0.5kg)
- シリビアNADウレタンN 15kgセット(A液: 13.5kg, B液: 1.5kg)
(2液弱溶剤形ウレタン樹脂塗料) 4kgセット(A液: 3.6kg, B液: 0.4kg)
- シリビア1液スーパーシリコン 15kg, 4kg
(1液弱溶剤形シリコン樹脂遮熱塗料)

【大波工法】
(砂骨ローラー仕上げ)



各種上塗り(トップコート)

シリビアサーフ

既存塗膜
(リシン面)

【ウールローラー工法】
(ウールローラー仕上げ)



各種上塗り(トップコート)

シリビアサーフ

既存塗膜
(吹付タイル面)

【ゆず肌工法】
(吹付仕上げ)



各種上塗り(トップコート)

シリビアサーフ

既存塗膜
(吹付タイル面)

※この見本は印刷ですので、実際の施工とは色調・パターンに多少の違いが生じる場合があります。ご了承ください。

シルビアサーフの施工上の注意事項

■塗装前の確認

- 改修工事の場合は、既存塗膜の種類や劣化状態を確認し、健全な状態かどうかと付着していることをテープテストや建研式付着試験にて確認してください(付着強度0.7N/mm以上)。
- 改修工事の場合、既存塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、既存塗膜を侵しリフティング(塗膜のチヂレ)やフクレが発生する場合がありますので、既存塗膜を必ず確認のうえ塗装仕様を決定してください。塗装仕様については、最寄りの営業所にお問い合わせください。

■下地調整

- 高圧水洗浄やスプレー施工では、周辺の状況をよく確認し十分に養生を行ってください。
- 高圧水洗浄は圧力とノズル距離を正しくとり、確実に行ってください。
- 高圧水洗浄が使用できない場合はホースで水を流しながらブラシなどを使用し、ホコリ、かび類、藻類を完全に除去してください。
- 水洗い後1日以上乾燥させてください。各工程では、雨や露などで濡れている場合は十分に乾燥させてから施工してください。
- コンクリートやモルタルの表面は充分に乾燥させてください(表面含水率10%以下(ケツト科学社製水分計CH-2型)または5%以下(ケツト科学社製水分計H150シリーズ:コンクリート

■施工について

- 本製品は標準塗装仕様に従って施工してください。標準塗装仕様は、あくまで「標準」的な仕様であり、下地の状態、形状、施工条件、気象条件などにより使用量や可使時間などに多少幅を生じることがあります。
- 施工当日から施工後翌日までに降雨、降雪、結露が予想される場合や気温5℃以下、湿度80%以上の施工は避けてください。塗膜が未乾燥状態で降雨や夜露などにあたると不具合の原因につながります。特に冬季は、乾燥に時間がかかりますので乾燥までの時間を考慮して作業を終了してください。気温が5℃以上でも、気温が低い場合は塗膜の乾燥に時間がかかりますので施工間隔が変わります。
- シルビアサーフの塗膜内部の乾燥不足状態で上塗りを施工した場合、降雨や結露などで膨れなどの不具合が発生する可能性があります。シルビアサーフの乾燥を確認して上塗り塗装を行ってください。
- 結露の発生する恐れのある場所や頻繁に結露の発生している場所、また換気が不十分な場所での施工は避けてください。
- 塗料は必ず塗装仕様書の配合比で調合し、十分に攪拌してから施工してください。また、他の塗料との混合は絶対に行わないでください。
- 塗料を使用する前や小分けする場合には、十分に攪拌して均一な状態してから計量し、ご使用ください。
- 各種塗料は、必ず指定の希釈剤(水やシンナー)をご使用ください。当社、弱溶剤形塗料の希釈の際は「NT塗料用シンナーA」を使用してください。
- 塗料の希釈率は標準塗装仕様の範囲内で試験施工などにより決定し、同一条件で施工してください。希釈率は色や施工条件により、変化しますのでご了承ください。
- 標準塗装仕様の使用量を愛してください。使用量以下で施工した場合、期待する弾性機能が得られないばかりか、早期の剥離やフクレ、上塗りの仕上り不良、耐久時間の低下につながります。
- 各工程において、施工間隔(塗り重ね時間)を守ってください。施

- 下地にシリコン樹脂塗料やフッ素樹脂塗料、無機塗料、親水コート、アルミ使用塗料、光触媒塗料が施工されている場合、付着性などの点より注意が必要です。最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 下地の種類が不明な場合は、下塗り塗料の選定および試験施工を行ってください。押し出し成型セメント板やPC板、GRC板などの場合は最寄りの営業所までお問い合わせください。
- 塗り替え施工で既存塗膜が弾性スタック、弾性リシン、アクリルトップの場合、既存塗膜がすでに膨れている、また既存塗膜の

- レンジ))。
 - 油分が付着している場合は中性洗剤などを使用し、除去してください。
 - 洗浄後、外壁の劣化、ひび割れ、サイディングボードの釘浮きなどの確認を行い、適切に処理してください。
 - シーリング材の劣化などがある場合には打ち替えを行ってください。
 - 粗面やALC面、多孔質下地など、下地に問題がある場合は「NTカチオンシリーズ」などを使用し、適切に下地調整を行ってください。その後は「NT水性カチオンプライマー」を塗布してください。
 - 下地表面のチョーキング、ゴミ、かび類、藻類、レイタンスなどは
- 間隔は、気温により変わります。塗膜の硬化が不十分な状態で溶剤形上塗り施工をするとき再溶解やリフティング(塗膜のチヂレ)を起こします。また、施工間隔を過ぎると付着性が悪くなったりします。
- 補修塗りを行う場合は、使用塗料のロット、希釈量、塗装方法などの条件を同一にしてください。
 - ローラーや刷毛、スプレーなど施工方法が混在する場合、色相や仕上りに差がでることがあります。特に補修塗りの際は注意し、仕上りを確認した上で希釈量等を決め範囲で行ってください(目立ちにくくなるように施工してください)。
 - ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目の方向により色や仕上りが異なって見える場合があります。
 - 建物の入隅部などに塗料がたまりやすくと収縮割れを起こす可能性がありますので、均一に塗装してください。
 - シルビアサーフの各工法において既存塗膜が無くコンクリート、モルタル面などに施工する場合は「NT水性カチオンプライマー」などの下塗りをご使用ください。既存塗膜が無い金属面には「エポオールプライマー」などのエポキシ樹脂系さび止めプライマーを使用してください。
 - 「シルビアサーフ」に溶剤形塗料や弱溶剤形塗料を使用する際、「シルビアサーフ」の使用量が少ない(塗膜が薄い)とリフティングの原因になります。
 - 「NT水性カチオンプライマー」と一般の水性塗料を混合しますとゲル化、ブツ発生などの原因となります。施工の前には、使用器具を水で十分に洗浄してください。
 - 「エポオールプライマー」は多少の吸い込みに対応できるように顔料を少なく設計しています。このため、施工方法や使用量、希釈量、下地の状態によりムラに見える場合があります。特に業系系下地で塗料が下地に多く吸い込まれる場合、隠れ性が悪くなります。
 - 「エポオールプライマー」を塗料粘度が上昇する冬季や、乾燥が著しく早い猛暑時で塗りにくい場合は、「NT塗料用シンナー

- 表面にピンホール(細かな気泡)が生じている場合があります。その場合は既存塗膜を完全に除去してください(特に部材が軽量モルタル、ALCパネル、窯業系サイディング、発泡ウレタンなどを使用した断熱工法の外壁の施工は注意が必要で)。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状況、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜のフクレ、剥離が生じることがあります。
- 既存塗膜が高弾性塗膜の場合は適用できない場合があります。

- 除去し、欠損、ひび割れ、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは適切な下地処理を行ってください。
- 既存塗膜が無く、金属面が出ている場合は、当社指定の金属用プライマーを使用してください。
- 鉄筋部は、ワイヤーブラシやサンドペーパー、電動工具などで丁寧にサビを除去し、時間をあけてから金属用プライマーを塗り込んでください。
- 下地の状態により仕上がり変わります。下地の状態をなるべく均一にしてください。また、既存塗膜の剥離部は、なるべく既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- 既存塗膜を剥離した部分は、なるべく既存塗膜と同一種類の塗料を用い、パターンの復旧を行ってください。

- A]を、5%以内を目安にご使用ください。
- 「NT水性カチオンプライマー」「エポオールプライマー-S」「エポオールプライマー」は、下地の劣化が激しく吸い込みが多い場合、施工間隔(2~72時間)をあけて、下塗り2回目を施工してください。使用量が多い場合、乾燥が遅くなります。乾燥していることを確認して「シルビアサーフ」を施工してください。
- 下塗り「エポオールプライマー-S」「エポオールプライマー」を使用した場合、下塗りを良く乾燥させてから「シルビアサーフ」を施工してください。乾燥が不十分の場合、ハジキやフクレ、剥離の原因になります。
- 著しくかびや藻の発生しやすい環境下では防かび、防藻効果が十分に発揮されない場合があります。
- シーリング面への塗装は塗膜の汚染や剥離、収縮割れが発生する場合がありますので極力行わないでください。やむを得ず使用する場合はシーリング材が完全硬化した後に、「シルビアEプライマー」を下塗りすることで不具合の軽減がはかれますが、それでも、シーリング材の種類、使用条件などにより、不具合が起こることがあります。
- シーリング材が使用されている部位周辺は、シーリング材から溶出する可塑剤やシリコンオイルなどの付着により、汚れが発生する場合があります。
- 可塑剤が多く含まれる塩ビ鋼板、プラスチック、ゴムパッキンなどへの直接施工は避けてください。
- 塗装後、塗膜が乾燥するまでに養生テープを剥がしてください。塗膜乾燥後に養生テープを剥がす場合はカッターナイフなどを用いて取り外してください。
- 施工時はご使用になる各塗料の個別カタログや個別資料も合わせてよくお読みになり正しくご使用ください。ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 塗料は用途、用法を守り、上述カタログの仕様や注意事項をよくお読みになり正しくご使用ください。

シルビアサーフの取り扱い上の注意事項

- 火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- 万一、火災が発生した場合ABC粉末消火器など適切な手段を用いてください。水は使用しないでください。
- 施工中、乾燥中ともに換気を充分に行い、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 安全衛生上の観点から、取り扱い中は皮膚に触れないようにし、有機溶剤の蒸気を吸わないよう必要に応じて有機ガス用防毒マスク、手袋、および前掛けなどの保護具を着用してください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 材料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
- 容器(取っ手を含む)はつり上げないでください。止むを得ずつり上げる場合は、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください。偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗いおよびうがいを充分に行ってください。
- 目に入った場合は多量の水で少なくとも5分以上洗い、すみやかに医師の診察を受けてください。

- 誤って口に入った場合は、口を水でよくすすぎ、すみやかに医師の手当てを受けてください。飲み込んだ場合は直ちに医師の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に付着した場合は、多量の水で洗い流したのち中性石鹸と水で十分に洗ってください。痛みや外観変化があるときは医師の診察を受けてください。作業着などに付着した場合は、すみやかに着替えを行ってください。
- エポキシ樹脂系塗料は体質により皮膚障害などの感作を受ける場合があります。医師の指導を受け必要な措置を講じてください。
- 皮膚障害、呼吸障害がみられる場合は、医師の診断を受けてください。
- 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 本製品の保管は必ずフタをし、雨露や直射日光の当たらない換気の良い冷暗所に保管し、取り扱いの際は気圧に充分ご注意ください。現場で材料を保管する場合は、直射日光や雨露が当たらない、風通しの良い涼しい場所で保管してください。特に夏季に車内での保管や高温になる場所での保管は危険ですので避けてください。
- 水性塗料は5℃以下で保管すると凍結の恐れがあります。一度凍

- 結した塗料は仕上り不良、物性低下、割れなどの不具合の原因となります。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 本製品は環境に配慮した材料を用いていますが、ご使用いただいたすべての人の健康状態を保証するものではありません。
- 本製品は、揮発性の化学物質(有機溶剤など)を含有しているものもあります。臭気が発生します。あらかじめ元請や施工主、近隣住民への説明を行い、了解を得てください。臭気が周辺にある物に付着する場合があります。付着が予想されるものは、施工箇所からできるだけ遠ざけ、屋内に揮発成分が流入しないように養生を行ってください。また、化学物質過敏症やアレルギー体質の方がいる場合には本製品との接触や施工を避けてください。
- 本製品の取り扱い並びに輸送及び保管については、労働安全衛生法や消防法、道路運送車両法、船舶安全法、港則法などの各種適用法令を遵守してください。
- 製品をご使用の際は、必ず、警告ラベル、安全データシート(SDS)をご参照ください。

* 製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】



■お問い合わせ先

- | | |
|------------------------------------|---------------------------------|
| 東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子3-23-2 | ☎(03)3913-6203 FAX(03)3913-6323 |
| 神奈川営業所 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10 | ☎(0463)23-2135 FAX(0463)23-3739 |
| 中部営業所 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木12 | ☎(0566)81-8111 FAX(0566)81-8124 |
| 大阪営業所 〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12 | ☎(06)6386-8492 FAX(06)6338-3560 |
| 中四国営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13 | ☎(082)423-8231 FAX(082)423-8256 |
| 九州営業所 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726 | ☎(0942)89-5766 FAX(0942)89-5762 |

●日本特殊塗料ホームページ <https://www.nttoroy.co.jp/>

■代理店

SS-09240D - [DS/PW]#10 [2024年9月作成]定価100円(税抜き)